

施設名称	〔49〕 東京都台東区立今戸社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）		
	26年 65,096	51,076	14,020			
	27年 65,658	52,402	13,255			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸2-26-12（今戸住宅2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール：50名（107㎡）和室：30名（66㎡） 第一会議室：30名（55㎡）第二会議室：40名（57㎡）					
(6)人員体制	週40時間勤務 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施					
(2)自主事業	4 講座実施 延9回 参加人数 192人					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000	19,673,000
	利用料金収入	1,300,000	1,000,000	1,040,000	1,090,000	1,100,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	17,188,000	20,230,000	20,140,000	20,859,000	20,773,000
決算	委託料	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000	19,673,088
	利用料金収入	1,098,430	1,279,175	1,222,800	1,408,125	1,174,965
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,986,430	20,509,175	20,322,800	21,177,125	20,848,053
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
年間開館日数	日	339	340	342	343	
自主事業等講座数	講座	17	14	14	14	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
利用率	%	33	30.5	32.0	32.2	
利用人数	人	19,000	17,624	17,831	18,491	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

館独自のサークルフェスタを開催し、地域に根ざしたフェスタとして実施した。12団体、162人の参加を得ている。オリンピック・パラリンピックの講座として、「おもてなし語学」という講座を実施して延167人の参加を得た。また、新しい団体の結成が1団体あった。小学生向きに「絵付けシートでカンタン！楽しい！陶器のオリジナルお皿づくり」という講座を行い35人が受講した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目									
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(b)サービス水準 [2]	(c)職員配置 [2]	(d)職員研修 [2]	(e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(b)備品の管理 [2]	(c)清掃・衛生管理 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(c)利用者数等の目標達成 [2]		(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]				
(4)収入支出 平均 [1.8]	(a)適正な予算執行 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]			(c)収支計画の達成 [1]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]				

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	生涯学習のきっかけ作りであるラーニングスクエアの受講後の継続活動として、有志の方々によるサークルの発足の相談に応じ、サークル発足が1団体あった。また、館独自のサークルフェスタを開催し、地域への認知度向上を図った。
(2)施設の維持管理	A	点検等については、年度計画・月次工程に基づいて適切に実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出し、速やかに対策を講じるなど、利用者の安全に努めている。
(3)利用者の満足度	A	会議室を板で防音するなど工夫を行い、音を出す団体も使いやすいよう努めている。館のサークルフェスタでは新たに6団体が参加するなど満足度の充実に努めている。
(4)収入支出	B	利用収入は前年度と比較して、大幅に減少した。申込件数の減少である。照明の部分消灯及び裏紙印刷を励行し、節約に努めるなど、適切な予算執行に努めている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力
 照明の部分消灯及び裏紙印刷を励行し、節約に努めるなど、適切な予算執行に努めていたが、利用収入は社会教育登録団体の利用、申し込み件数の減少により、大幅に減少した。サークルフェスタなどを通じ、新規サークルを増やすなど、利用の増を図る必要がある。

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

サークルフェスタを充実させるとともに、サークルフェスタや講座を通して新しいサークルを増やすことにより、館の利用率を向上させることにより、利用料収入を確保していくことが必要である。